

フィリピンで麻疹が流行

2010年2月23日 ProMED 情報(The Manila Times online)



フィリピン全土では、2ヵ月足らずの間に約700名の麻疹患者が報告されました。保健当局は6つの地域で警戒を強め、麻疹の流行を宣言しました。麻疹流行を宣言されたのは次の地域です。マニラ州トンド Tondo の Baseco Compound と Moriones、ラス・ピニャス Las Pinas 市の Barangay Pulang Lupa、カヴィテ Cavite 州のダスマリニャス Dasmariñas の Central Market、ケソン Quezon 州のサン フランシスコ San Francisco 町、ラナオ・デル・スル Lanao del Sur 州の Balabagan 町です。

保健当局によると、フィリピンでは669名の麻疹患者がこれまで報告されており、そのうち99%は2010年2月第2週に報告されました。2010年始めから2月13日までに報告された麻疹患者数は、前年同期よりも70%も増加しています。患者数が増えているのは、夏季が近づいて気温が上昇していることが理由です。さらに、1～9歳の多くの子供が予防接種を受けておらず麻疹にかかりやすいためです。